資料２

**英語コミュニケーションⅠ　パフォーマンステスト**

１　内容（話すこと「やりとり」）

　教科書の内容を振り返りつつ、自身が飼ってみたいペットについて理由とともに伝え、それを元にしたやり取りを、授業者とのインタビュー形式で行う。

２　テストの流れ

①　挨拶＆small Talk.

T: Hi, 〇〇. How are you doing?

S: .

T: What time did you go to bed last night?　など

※日々のsmall talk より一般的な質問。

S: 　　　　　　　　　　.

②　音読テスト（教科書のSummary）

発音や意味のまとまりを意識して読めているか評価します！

※音読教材は教科書のSummary

③　質問１：飼いたいペットとその理由

理由に加え、更に詳細な情報や自分の考えを言うことができたら高評価！

　T: What animal do you want to have as a pet?

S: 　　　　　　　　　.

T: Why?

S: Because 　　　　　　　　　　　　　. (+α)

④　質問２：そのペットにどんな名前を付けるか。

動詞nameが正しく使えるか評価します！

　T: What will you name it?

S: I’ll name 　 .

　　　　　　　 O　 　C

⑤　質問３：質問２の答えについての理由

　T: Why do you choose that name?

S: Because 　　　　　　　　　　　　　.

３　ルーブリック

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | A | B | C |
| ①挨拶＆  small talk  【思】 | 最初の挨拶がスムーズにでき、後に続く質問にも受け答えができた。 | 最初の挨拶がスムーズにできた。 | 最低限の挨拶ができなかった。 |
| ②音読  【知】 | 明らかな発音のミスが  ０個 | 明らかな発音のミスが  １～２個 | 明らかな発音のミスが  ３個以上 |
| 音声の切れ目が不自然な文が０か所 | 音声の切れ目が不自然な文が１～２文以内 | 音声の切れ目が不自然な文が３文以上 |
| ③質問１  【思】 | 飼いたいペットとその理由に加え、更に詳細を伝えることができた。 | 飼いたいペットとその理由を伝えることができた。 | 伝えることができなかった。 |
| ④質問２  【知】 | 動詞nameを適切に用いて答えることができた。 | 動詞nameを用いて答えることができた。 | 動詞nameの用法に誤りがある。または、答えることができなかった。 |
| ⑤質問３  【思】 | 質問２の理由を適切に伝えることができた。 | 質問２の理由を伝えることができた。 | 伝えることができなかった。 |
| ⑥相手への配慮  【主】 | 表情、アイコンタクト等、相手に配慮してコミュニケーションが取れた。 | コミュニケーションが支障なく取れた。 | 英語でのやり取りができなかった。 |

※①③④⑤については10秒以内に返答ができなかった場合、評価はCとする

４　テスト後の振り返り（できたこと、できるようになりたいこと、ふだんの授業で心がけたいこと）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

英語コミュニケーション1　　パフォーマンステスト（授業者用）

《テストの流れの具体例》

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 挨拶＆  Small Talk | T: Hi, 〇〇.  **How are you doing?**  S: **I’m sleepy.**  T: Oh, really?  **What time did you go to bed last night?など**  S: Ah…, **11 o’clock.** | ・挨拶ができ、その後の質問にも  受け答えができる。【思】 |
| 音読テスト | T: Ok, 〇〇, let’s start test.  **First, look at the card on the desk and read it aloud.**  ※音読教材は教科書のSummary | ・正しい発音ができる。【知】  ・意味のまとまりごとの切れ目を意識して音読できている。【知】 |
| インタビューテスト | 質問１  T: Ok, now I’m going to ask you a question.  **What animal do you want to have as a pet?**  S: **I want to have a cat.**  T: Oh, you want to have a cat. **Why?**  S: **Because it is really cute! Recently I saw many cute photos of a cat on Instagram!**  質問２  T: Ok. So, if you have a cat,  **what will you name it**?  S: Uh…, maybe, **I’ll name it** 〇〇.  質問３  T: Interesting!  **Why do you choose that name**?  S: **It’s my favorite anime character name.**など | ・飼いたいペットとその理由を答えることができる。より詳しい背景などの説明や自分の考えが言えたら評価をAにする。また、理由のみの場合でも授業者からの質問に答えることができたら評価はAとする。【思】  ・動詞nameを適切に使い答えることができる。【知】  ・質問２の理由を述べることができる。【思】 |
| 終了 | T: All right. You did really good job!  Nice talking with you.  S: Nice talking with you, too. See you! | ・全体的にコミュニケーションを取ろうとする態度（表情、アイコンタクト等）が見られたか。【主】 |

【授業者用採点用紙】

※音読教材は教科書のSummary

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | A（５点） | B（３点） | C（０点） |
| ①挨拶＆  small talk  【思】 | 最初の挨拶がスムーズにでき、後に続く質問にも受け答えができた。 | 最初の挨拶が  スムーズにできた。 | 最低限の挨拶が  できなかった。 |
| ②音読  【知】 | 明らかな発音のミスが  ０個 | 明らかな発音のミスが  １～２個 | 明らかな発音のミスが  ３個以上 |
| 音声の切れ目が  不自然な文が０か所 | 音声の切れ目が  不自然な文が１～２文以内 | 音声の切れ目が  不自然な文が３文以上 |
| ③質問１  【思】 | 飼いたいペットと  その理由に加え、更に  詳細を伝えることができた。 | 飼いたいペットと  その理由を伝えることが  できた。 | 伝えることができなかった。 |
| ④質問２  【知】 | 動詞nameを適切に用いて答えることができた。 | 動詞nameを用いて答えることができた。 | 動詞nameの用法に誤りがある。または、答えることができなかった。 |
| ⑤質問３  【思】 | 質問２の理由を適切に伝えることができた。 | 質問２の理由を伝えることができた。 | 伝えることができなかった。 |
| ⑥相手への配慮  【主】 | 表情、アイコンタクト等、相手に配慮してコミュニケーションが取れた。 | コミュニケーションが  支障なく取れた。 | 英語でのやり取りが  できなかった。 |

　知　　　　　／１５　　　　思　　　　　／１５　　　　　　　主　　　　／５

（　　　）年（　　　）組（　　　）番　氏名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）